

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 白梅の里

作成日: 令和 3 年 10 月 12 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	現在はコロナ禍の下、利用者、職員のみでの参加で開催しているが、この間に、外部の委員との関係が途切れないよう、コミュニケーションに努めていく。また、コロナ収束後には、参加委員を増員し、多方面からの情報収集と活発な意見交換が出来る会議を目指していく。	電話やメール、書面で外部委員からの意見や情報を収集して議事録にまとめる等、やり取りを通して関係を継続していく。また、民生委員を始め、地域住民、元家族、他事業所管理者等、幅広く委員を募り、ホームの問題だけでなく、地域の課題についても話し合える会議を目指していく。	12ヶ月
2		次のリーダーの育成	現管理者になって6年が過ぎ、ベテラン中心のチームワークの良い職員集団が出来上がっているが、現状に満足することなく、5年先、10年先を見据えたリーダーの育成への取り組みを始めしていく。	管理者が参加会議や運営推進会議、行政や家族とのやり取りの際、同席して体験する機会を設け、少しずつ仕事を振り分け後継者を育てていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。